

**2019年度
滋賀県がん患者
アンケート調査
結果報告**

令和2年3月



滋賀県がん患者団体連絡協議会

はじめに

がんは、加齢により発症のリスクが高まることから、高齢化の進行によりがんの罹患は増加することが予測されています。平成28年（2016年）の全国がん登録の滋賀県がん情報によると年間11,000人の県民ががんに罹患しています。

一方で、がん医療は年々進歩を遂げ、がんは早期発見されることが多くなり、がんは長く付き合う慢性の病気になってきています。

本県では、平成20年度（2008年度）から「滋賀県がん対策推進計画」を策定し、がん対策が進められています。また、平成25年（2013年）12月には「滋賀県がん対策の推進に関する条例」が公布、施行されました。

「滋賀県がん対策推進計画」は、平成30年度（2018年度）から第3期計画がスタートし、「県民一人ひとりが輝ける健やかな滋賀の実現～県民が、がんを知り、がんを予防し、がんになっても納得した医療・支援が切れ目なく受けられ、自分らしく暮らせる滋賀を目指して～」を基本理念に全ての県民ががん対策の主役である認識のもとに進んでいます。

全体目標は、以下の3つが掲げられています

- ① 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実
- ② 患者本位のがん医療の実現
- ③ 尊厳をもって安心して暮らせる社会の構築

滋賀県が計画を策定してから10年が経過しました。医療体制の整備や社会的支援等をこれまで進めてきましたが、滋賀県のがん患者さんが納得した医療や支援が受けられ自分らしく暮らせているのか、ということを知らないと、がん対策がうまくいっているのか、力を入れないといけないところはどこかがわからないと考えました。

そこで、滋賀県がん患者団体連絡協議会と滋賀県が、今の姿を知り、今後の対策の基礎資料となることを願って13か所の滋賀県のがん診療病院（都道府県がん診療連携拠点病院・地域がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・滋賀県がん診療連携支援病院）のご協力を得て調査を行うこととしました。

がん診療病院については、調査についてご意見をいただき、また、実施にあたっては、倫理審査委員会での審査や院内の検討会で承認いただいたうえで、協力いただきました。また、分析にあたっては、滋賀医科大学社会医学講座にお願いをしました。

調査票を返信いただいた数は950部でした。滋賀県のがん患者の一部ですが、思いにあふれた調査票です。

滋賀県のがん患者の姿を知っていただき、また、がん対策に活かせるようにまとめましたのでご一読いただくと幸いです。

最後に、本調査にご協力いただきました患者の皆様、病院の皆様に感謝いたします。

令和2年3月

滋賀県がん患者団体連絡協議会

会長 菊井 津多子